

社長のひとりごと【高齢者住宅】

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索



ホームページ

- asahiglobal.co.jp
- global-mie.co.jp
- super-chintai.com
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com

agg-hd.co.jp



汗と涙の、そして儲からない 「ゴールドエイジマンション」

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

今回はゴールドエイジマンションで働く、介護のヘルパーさんや入居者の高齢者の皆さんにもよく聞いていただいて、1棟の「ゴールドエイジ」と言う建物が完成するまでに、たくさんの人達の善意と汗と涙があったことを知ってもらいたいですね。

①まず4億円近い借金をして建てていただく地主さんです。この人達は「儲けたい」から建物を建てている人は一人もいませんね。赤字では借金が返せないのがダメですが、利益はなくてもいいと言われます。

なぜでしょうか。それは地主さん自身が「高齢なので、こんな「ゴールドエイジ」を建てて地域社会に貢献したいと、本心で言われます。私はいつも頭が下がる思いですが、だから快適でお家賃の安い、介護付きの高齢者住宅ができるのです。

儲けたいのなら、普通の賃貸マンションを建てれば4棟も建てられる値段なので、1棟4億円で、わざわざ苦勞をしなくてもいいのです。

②さて次に、地域を回って地主さんを探して、受注して建物を建てる建設会社も、儲かりません。じゃあなぜやるのでしょうか。それはこれから始まる高齢化社会の中で建設会社の生

きてゆく道を探したいからです。今、儲けたいなら、こんな面倒くさい「ゴールドエイジ」をやるうと言う建設屋はいないでしょう。

ものすごく難しいのです。まず建たいと言う地主さんがほとんどいません。次に建てたい地主がいても銀行が融資を嫌がります。新しい法律によつてできた過去の実績のない事業には、お金を出さないのです。これはもうひどいもので、今まで90件中10件しか融資が出ていないのです。

ですから、1棟のゴールドエイジができると言うことは「奇跡」の様なものですね。

③次に、入居者が二年たつても満室になりません。満室になつても、高齢者は病気などで入院されることが多く、すぐ空室になつて、苦勞の連続ですね。

だから、食事業業者も、介護業者もずっと赤字が続くのです。それも1年半から2年も8割の入居が入るまでは赤字なんですね。ではどうするのでしょうか。それは他の建物の利益をこの赤字につき込んで、2年間頑張るのです。すぐに儲けたいという会社には、こんなことできるものではありません。食事業業者さんにもお願いして、頭

を下げて、下げて赤字で食事を作つていただいているのが、嘘でなく本当の話ですね。

さてなぜそんなに私達は頑張るのでしょうか。それは「夢があるから!!」です。日本で誰もやったことのない「ゴールドエイジ」の理念を実現させると言うそれは「夢」ですね。

甘いと言われても、バカだと言われても、わざと儲からない商売をしているのです。儲けたいなら、私はすぐに「普通のマンション」や「有料老人ホーム」をしますね。しかし、私はこの儲からない「適合高齢者住宅」の「ゴールドエイジ」しか絶対にやりません。なぜかと言うとこれが入居者の高齢者と、介護の現場で働くヘルパーさん達にとって一番良いことだと信じ切っているからです。

高齢者の笑顔を見るたび、「安全」で「安心」で「楽しい」住まいで良かったと実感できます。そして介護働くすべての人のやりがいのある介護サービスを実現するためにも、このゴールドエイジしかないと確信しているからに他なりません。

これからも全国に、この儲からないゴールドエイジを建て続けてゆくことを誓います。